

●発表日：平成27年(2015年)9月28日

第 26 回渥美半島菊花大会の開催について

渥美半島の電照菊は、半島の秋の風物詩として重要な観光資源の一つとなっています。この大会は、この地の特産である「菊」を展示紹介することで、菊のPRや地域の観光産業の振興を図るものです。

大会に出品された作品は審査が行われ、内閣総理大臣賞（優勝）、農林水産大臣賞（最優秀賞）等が、高い技術と丹精をこめた作品に授与されます。

審査対象となる「大菊大輪三本仕立」などの展示のほか、地域の小学生や園児の作品も展示され、大会を盛り上げます。また、生花展、大正琴などのイベントも開催します。

1 日 時

平成27年10月27日（火）～11月8日（日） ※期間中無休
午前9時30分～午後4時

2 場 所

サンテパークたはら サンテドーム
住所：田原市野田町芦ヶ池8番地 電話：(0531)25-1234

3 予定出展鉢数

約500鉢

4 審査日

平成27年10月30日（金）午後1時30分

5 表彰式

平成27年11月 6日（金）午後1時30分

6 期間中のイベント

- ・松月堂古流生花展 11月2日（月）～11月5日（木）
- ・大正琴のしらべ 11月1日（日）午後1時30分～午後2時30分

7 その他

- ・JA愛知みなみ 渥美スプレーマム出荷連合から、花（スプレー菊）の提供をいただき、より豪華にステージを飾ります。
- ・最終的には、即売会を予定。

(担当) 渥美半島観光ビューロー 畠山敏治 電話(0531) 23-3516

第26回渥美半島菊花大会 実施要綱

1 目的

渥美半島に展開する電照菊は半島の秋の風物詩として重要な観光資源の一つであり、訪れる観光客も多い。この地の特産である「菊」を広くPRするため「菊花大会」を開催し、一般観光客、地域住民に展示紹介することによって、地域の観光産業の振興を図る。

また、地域の小学生及び園児からの作品も募集し、菊作りをとおして児童の情操を深める。

2 会期

平成27年10月27日（火）～11月8日（日）13日間 9：30～16：00

3 会場

サンテパークたはら サンテドーム

4 共催

田原市・中日新聞社

5 主催

渥美半島菊花大会実行委員会

6 後援（順不同）※予定

愛知県、豊橋市、愛知県教育委員会、豊橋市教育委員会、田原市教育委員会、（社）愛知県観光協会、渥美半島観光ビューロー、田原市商工会、渥美商工会、愛知県農業協同組合中央会、愛知県経済農業協同組合連合会、愛知みなみ農業協同組合、豊橋鉄道(株)、東愛知新聞社、東日新聞社、(株)エフエム豊橋

7 協賛

田原菊友会、渥美菊友会、東三菊友会

8 審査日

平成27年10月30日（金）午後1時30分～

9 表彰日

平成27年11月6日（金）午後1時30分～

10 準備（搬入）

平成27年10月26日（月）～27日（火）午前中

※ただし、切花の部の搬入については、10月28日（水）の午前中までとする。

11 片付け

平成27年11月8日(日) 午後4時～

11月9日(月) 午前9時～

12 表彰(予定)

出品作品のうち優秀なものには、次の賞を用意し表彰する。

| 賞 | 数 | 副賞 | 備考 |
|------------------|-----|--------|--------------------|
| 優勝(内閣総理大臣賞) | 1本 | トロフィー | 大菊大輪三本仕立 三鉢組の部より選出 |
| 準優勝(農林水産大臣賞) | 1本 | 〃 | ドーム菊の部 |
| 優秀賞(愛知県知事賞) | 3本 | 〃 | 上記以外の部より選出 |
| 愛知県議会議長賞 | 1本 | 賞品(肥料) | 〃 |
| 豊橋市長賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 田原市長賞 | 2本 | 〃 | 〃 |
| 豊橋市議会議長賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 田原市議会議長賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 愛知県教育委員会賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 豊橋市教育委員長賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 田原市教育委員長賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 愛知県観光協会賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 渥美半島観光ビューロー会長賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 愛知県農業協同組合中央会長賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 愛知県経済農業協同組合連合会長賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 愛知みなみ農業協同組合賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 田原市商工会賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 渥美商工会賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 中日新聞社賞 | 2本 | 〃 | 〃 |
| 東愛知新聞社賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 東海日日新聞社賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 豊橋鉄道賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| エフエム豊橋賞 | 1本 | 〃 | 〃 |
| 合計 | 27本 | | |

13 競技方法

単鉢と組鉢の併用審査

14 審査対象

(1) 大菊大輪

| | |
|-----------|----------------------|
| 三本仕立 | 単鉢の部 (A) ・ 三鉢組の部 (B) |
| 三本仕立 (管物) | 単鉢の部 (C) ・ 三鉢組の部 (D) |
| 七本仕立 | 単鉢の部 (E) |
| 競技花 | 単鉢の部 (F) |
| 福助仕立 | 三鉢組の部 (G) |
| ジャンボ福助仕立 | 単鉢の部 (H) |
| ダルマ仕立 | 三鉢組の部 (I) |

(2) 小菊

- 懸崖 (J)
- 盆栽 (K)

(3) 学校、自由参加、切花の部 (L～N)

15 審査方法

- ①審査当日、出品花に対し満開もしくは満開に近い現状審査を行い、見込み審査は行わない。
- ②審査は別に定める審査員の合議によって進める。
- ③各部の出品数に応じて、賞を選出する数は流動性とする。

16 審査員

渥美半島菊花大会実行委員会から、公的機関の指導者・菊作りの経験者を中心に数名委嘱する。

17 出品規則

A 大菊大輪三本仕立 単鉢の部

- ①草丈の最低は鉢底より天の花頂まで105cm未満のものは減点の対象とする。
- ②草丈の最高は鉢底より天の花頂まで165cmを越えるものは減点の対象とする。
- ③天・地、人の逆転は減点の対象とする。
- ④支柱の色は黒色とし、くくりひものは自由とする。
- ⑤インバインドは必ず使用する。
- ⑥鉢寸については9号鉢とする。

B 大菊大輪三本仕立 三鉢組の部

- ①Aの規則を基準とし、三鉢異品種であること。

C 大菊大輪三本仕立（管物） 単鉢の部

①Aの①～⑤の規則を基準とし、鉢寸は8号鉢以下とする。

D 大菊大輪三本仕立（管物） 三鉢組の部

①Cの規則を基準とし、三鉢異品種であること。

E 大菊大輪七本仕立 単鉢の部

①Aと①～⑤の規則を基準とし、鉢寸は10号鉢以下とする。

F 競技花 単鉢の部

- ①Aの規則を基準とする。
- ②品種は「国華桜島」とする。
- ③色は赤とする。

G 福助仕立 三鉢組の部

- ①草丈は鉢底より花頂まで50cm以下とする。
- ②鉢寸は5号鉢とする。
- ③三鉢異品種であること。

H ジャンボ福助仕立 単鉢の部

- ①草丈の最高は鉢底より天の花頂まで70cm以下とする。
- ②鉢寸は7号鉢とする。

I ダルマ仕立 三鉢組の部

- ①草丈の最高は鉢底より天の花頂まで70cm以下とする。
- ②鉢寸は7号鉢とする。
- ③三鉢異品種であること。

J 小菊懸崖

- ①審査当日全部つぼみの場合は審査より除外する。
- ②懸崖の部の作品の長さは180cm以内とする。

K ドーム菊の部

- ①鉢寸は9号鉢とする
- ②品種はクッションマムとする

L 学校の部

- ① 品種は特に定めない

M 自由参加の部

- ① 種は特に定めない

N 切花の部

- ①草丈は鉢底より花頂まで60cmとする。
- ②厚物の部・管物の部

18 出品数

制限なし。

※それぞれの作品の正面には、別に定める個人番号を明記すること。

※出展後の作品の入替えは、これを認めない。

※審査結果に関する異議申し立ては、これを認めない。